

安全・安心な通行を支援

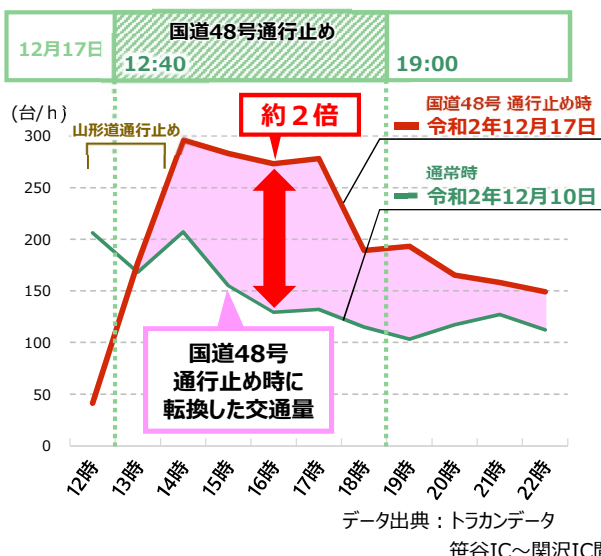
- ◇ 並行する国道48号通行止め時には、**交通量が約2倍増加**するなど、**代替路としての機能を発揮**。
- ◇ 山形自動車道が **安全・安心な通行**を支援しています。

通行止め時の代替路としての機能

- 令和2年12月17日に大雪の影響により国道48号の山形・宮城県境部約20kmが6時間以上通行止めとなった。
(12:40～19:00)
- 国道48号通行止め時には、山形自動車道の大型車交通量が最大で約2倍に増加した。
- 山形自動車道は山形・宮城県境部の安全・安心な往来を支えている。

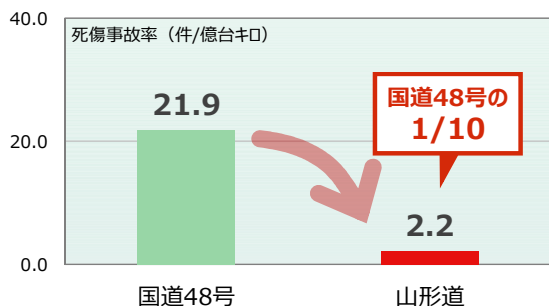


《 山形自動車道 時間帯別大型車交通量 》



死傷事故率※

- 山形自動車道の死傷事故率は並行国道に比べると大幅に低く、令和元年では2.2件/億台キロと並行国道の1/10程度と大幅に低くなっている。



※「死傷事故率」とは死傷事故の起こりやすさの目安となる指標。
1km区間を1億台の自動車が走行した際に、その区間で死傷事故が発生する割合。

出典：ITARDAデータ

バス会社の声

冬期は積雪による影響が一般道に比べ少なく、安全に運行できます。

高速バスについては定時性が確保され、冬期でも安定した運行が可能になっています。



出典：ヒアリング調査